



【時 間】 8:15～17:00



経済的な困りごとを抱えた方の生活の立て直しをはかるための相談窓口です。



※お電話は24時間受け付けます。

ふくしだよりはみなさまからいただいた会費と赤い羽根共同募金で発行しています(再生紙)



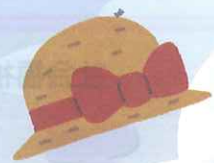
小学生福祉講座に参加し、視覚障がい者にやさしい街なのかを体験してきました。い～らの中は平らでとても歩きやすかったです。でも、バスに乗るときやお店での買い物は、周りがわからないからとても怖かったです。段差もあるし狭いところもあって、見えない人は大変だなあと思いました。でも、職員さんから、『周りにいる人が声かけすることで、その人はみんなと同じように生活ができる』と聞きました。私も街の中で困っている人がいたら、声をかけたいと思います。

⑧生活支援センターつばさ……………☎53-2610



ホームページ
<http://www.makinohara-shakyo.jp>

ふくしだよりはみなさまからいただいた会費と赤い羽根共同募金で発行しています（再生紙）



成長した夏！

サマーショートボランティア

市内の中学生以上の方が、ホームヘルパーや保育園などの福祉施設でボランティア活動を行いました。4日間という期間ですが、園児と走り回ったり、プールのお手伝いをしたりと大忙しでした。



体験者の声

ホームヘルパーは、たくさんの方々から信頼され助けるというすてきな仕事だと感じました。5日間も貴重な体験やお話を聞けて改めて福祉関係の仕事に就きたいと思いました。また機会があればボランティアに参加したいと思いました。



この夏、いろいろなところでボランティア体験活動が行われました。「ふだんの 暮らしの しあわせ」活動を行い、福祉を身近に感じた夏だったと思います。また、「ふくし」は特別なことではなく、その人が出来ない、手が届かないなど、ちょっとしたことに手を差し伸べるだけで、その人がその人らしく生活できることを体験しました。あとは声を掛ける勇気を持つことなんだ。という感想をいただきました。



のびのび子育て井戸端会議

市内中学生7名、大学生1名が「小麦粉粘土づくり」と「体操」のお手伝いに来てくれました。子どもたちは、お姉さんたちと遊ぶことができ大喜びでした。学生からは、「子どもたちが元気いっぱい、自然と笑顔になりました。とても良い体験ができました。」との声が聞かれました。



児童館まつり

夏休み前に「ふくし」について勉強をした川崎小学校の5年生と姉妹が、ポップコーン販売を手伝ってくれました。当日はとても暑い日でしたが、汗をかきながら一生懸命がんばってくれました。「ポップコーンを渡す時に、相手の目線にあわせてくれた中学生のお兄さん。さすがです!!」「お手伝いありがとうございました。」



「お手伝いありがとうございました。」

さざんがふれあい広場を開催します

ふくしの拠点を活かしたふれあい広場を開催します。多くのみなさんとふれあい、10周年を盛り上げましょう。

【期 日】10月4日（日）雨天決行（荒天：12日（月・祝日））

【時 間】8:30～12:00

【会 場】健康福祉センターさざんか

【内 容】イベント：川崎幼稚園マーチング・はいばら太鼓・牧之原ビンゴ大会 他
出 店：バザー・だんご・松川町の梨販売 他

【その他】チラシを10月2日（金）に新聞折込します。



あそびに
来てね！

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

【活動期間】10月1日～12月31日

今年度も全国一斉に共同募金運動が始まります。皆様から頂いた募金は静岡県共同募金会を通じ、社会福祉施設や社会福祉協議会へ配分され、ひとり暮らしの方への給食サービス、ふれあい広場、ふくしだよりの発行等幅広く地域福祉推進のために活用されます。本年度も皆様の温かいご協力よろしくお願いします。

